



Digest

名張育成会の「今!」がわかる

MIRAIとMIRAI reportそして輪ブログ

「MIRAI」とは、名張育成会と地域を結ぶコミュニティブログ。「MIRAIレポート」は、各施設からのスタッフ便り。「Café 輪」ブログでは、メニューや催し物をご案内しています。

YOUブログMIRAI

MIRAIレポート 名張

YOUブログRIN

vol.41
2015.4.1発行

発行:名張育成会MIRAIプロジェクト
社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者:男武正基(社会福祉法人名張育成会)
編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

「夢をかたちに」『新規事業プロポーザル』という取り組み

「新規事業プロポーザル」とは、個々の職員が支援現場で持つ、「もっとこうしたい」「ここを改善したい」という思いを提案し、制度に沿った形で実現できるように法人が後押しする提案型事業のこと。第一回目となる今回は7組の応募があり、今後すべての提案を事業として進めることとなった。

法人は当初、あまり大きな期待を持たないようにしていたそうだが、応募作の中には「事業所でヤギを飼おう」という夢のあるものや「法人内にスポーツセンターを設立したい」といった壮大なもの、また「子どもたちの作品展をギャラリーで行いたい」というこの3月にすぐに実施されたものまで、経営会議の中ではなかなか出てこない、個性的で創意工夫の感じられる案ばかりが集まった。

最優秀賞を受賞したのは「ライフサポートサービス」という提案。これは通常職員が行っているリネンの洗濯を、障害者雇用の一環として活用しようというもの。職員にとって大きなウェイトを占めているリネン業務が減れば、その分、利用者に向き合う時間を増やし、支援の質を向上させることができる。また、そのことが障害者雇用を進める事にもつながるので、まさに一石二鳥の妙案だった。

そういった企画を考え付いたのが、法人内研修の「マネージャー養成講座」で知り合った3人。一番



成美のリネン室にて 最優秀賞受賞の3人、右から松本和憲さん(成美)久保克之さん(成峯)上野敏夫さん(成美)

歴の浅い久保さんが今回の募集を知って『ぜひ一緒にチームを組んで下さい』と二人を熱心に誘ったことが始まりだった。松本さんは「正直、通常業務で精いっぱいなので断ろうかとも思ったんですが、久保さんが次から次へとアイデアを出してくるので、よしこれは一肌脱ごうという気持ちに…」と振り返る。発起人の久保さんは「僕はまだ経験も浅くて福祉的な視点に甘さがあると思っていました、なのでお

2人の先輩に、今まで溜め込んだアイデアからどれかを実行しましょう、と強引に選んでもらったんです。でも、本当にこの3人で良かったと思います。大変さは分かち合えるし、行き詰まっても意見を出し合い乗り越えられましたから！」とグループで応募した良さを語ってくれた。

実は発表の当日まで、3人そろって会える事が一回もなかったそうで、ミーティングは二人で行うか、もっぱらメールでのやりとりで、という中で当日を迎えた。発表当日は順番が後の方だったので、その場で他の人の発表を参考にしながら、ギリギリまで微調整して本番に臨んだそうだ。上野さんは「発表があったあとに賞金の金額を知って、その額に驚きました」と受賞の感想を素直に話してくれた。「現場で感じていた不自由を、声にしてあげたものが認められ、こうやって取りあ

げてもらえる事が、みんなに伝わったら良いなと思います。後に続いてほしいです。」と久保さん。「これから3人が中心となって事業化していくようにと、任命書もいただきました。アイデア段階では、まさかこんなことになるとは思っていませんでしたが、新しいものを創り出すことに今はとてもわくわくしています。」と3人で笑顔をはじけさせた。

思いが、夢が形になる。それはたとえそれが困難を伴う事であっても、仕事に対するやりがいにつながる。一人一人の職員の思いに耳を傾けることは、結果的に利用者の声なき声をくみ取る事につながっていく。この取り組みの根底には「利用者に寄り添う」という思いが流れている事を感じた。



「プレゼンテーション当日の役割も『ここはだれが?』という場面もあってなかなかスリリングでした。」と裏話を披露し笑いあう3人。

(文) 田口知恵子
コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。

いつつ星★物語

これは、グループホーム「いつつ星」の個性豊かな住人たちが、支え合いながら、その人らしく輝いて暮らしていく物語です。



この物語の舞台、グループホーム「いつつ星」

この物語の主な登場人物…いつつ星の五人の住人



おさるのモンタくん コアラのラーラちゃん リスのリスポンちゃん サイのサイゾウくん ひつじのめ〜ごさん

第4話 サイゾウくんの記憶

グループホーム「いつつ星」では、個性豊かなメンバーと一緒に生活をしています。

サイのサイゾウくんは記憶することがとても得意。街のレストランでは、注文した料理の写真をバッチリ覚えるなんて朝メシ前！でも、運ばれてきた料理と写真のちょっとした違いが気になってしまうこともしばしば…

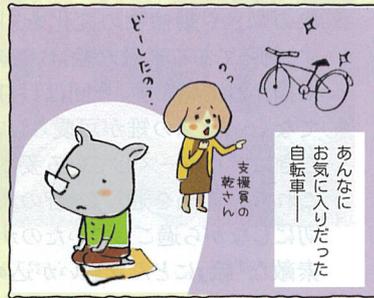
そんなサイゾウ君の最近のお気に入りには自転車。欲しいものをガマンして、少しずつお小遣いを貯めてやっと買った憧れの自転車です。いつもピカピカに磨いて、どこへでも出かけます。

ところが、ある日から、あんなに大切にしていた自転車に全く乗らなくなってしまいました。

どうしてだろう…
ほったらかしになった自転車もさびしそう。

不思議に思った支援員の乾さんが聞きました。「サイゾウくん、お気に入りの自転車、どうして乗らないの？」「もう、お気に入りじゃ、ない」「どうして？」「ほら、ここ」サイゾウくんの指さすところを、乾さんはよ〜くよ〜く見ました。

じ〜っと見ていると、かすかな傷が見えてきました。いつの間にか小さな傷がつിച്ചやっただみたい。「サイゾウくん、この傷？」「そう」それはほんとに小さな小さな傷だったけど乾さんは「こんな傷、気にならないよ！」とは言いませんでした。サイゾウくんは気になるところがとても大きく感じ、それ以外のものが小さく映って目にとまらないことを知っていたからです。大切にしていたからこそ気になってしまった小さな傷。乾さんが「またお気に入りになるといいね」と声をかけるとサイゾウくんはだまっとうなずきました。



サイゾウくんの記憶について

サイゾウくんは記憶力が優れているのですが、他人の気持ちを察することが苦手で、人とのコミュニケーションが上手く取れません。他人が怒っていても、何故、怒っているのが理解できずに、余計に怒らせてしまうこともあります。また特定のモノに非常に強い関心を持つ場合があります。一旦関心を持ったものについては優れた能力が発揮され、細部にわたって内容を記憶してしまうほどなのですが、何らかの事情によって少しても覚えている状態と違う

ものになれば、すぐに関心が薄れてしまいます。

今回は、お気に入りの自転車に思わぬ傷がついたために、サイゾウくんが記憶している「いつもの自転車」ではなくなってしまったようです。そんな時「こんな傷…」などとアドバイスがちですが、私たちの目には些細に映ることでサイゾウ君の目には記憶と違うその傷がとっても大きなものに映ってしまうのです。私たちは、時には曖昧に判断するなどによって日常生活でギクシャクせずに済む

ことでも、曖昧に判断することが苦手なサイゾウ君は、どうしても日常生活で誤解を受けがちになるんですね。

さて、一口に発達障害や知的障害といっても症状や特徴はその人ごとに異なりその個性は千差万別です。まずその方を理解し、気持ちを汲み取り、そして思いを寄せる。どのようにすればその方らしく暮らしてゆけるのか。名張育成会ではその人の個性を尊重した、一人ひとりに合わせた自立支援を行っています。

地域の方と育成園を結ぶ活動のご案内

名張育成園では、みなさんにほんの少しからでも親しみを持っていただけるよう、またお役にたてるようさまざまな活動をしています。

オープン型イベント

育成園まつり
(毎年5月開催)



陽だまりコンサート
(毎年3月開催)



ウインターイルミネーションイベント
(毎年12月開催)



飲食、販売事業

パン工房 ういず

〈住所〉〒518-0615 名張市美旗中村2326
名張育成園駐車場内「パン工房ういず」
〈連絡先〉TEL:0595-66-0020
〈営業時間〉毎週月・火・木・金
11:00~17:00 ※定休日(水・土・日・祝)



Café 輪

〈住所〉〒518-0479 名張市百合が丘東9番町290番地(百合が丘小学校となり)
〈連絡先〉TEL:0595-62-3273 FAX:0595-64-6631
〈営業時間〉11:00~17:00(月~金曜) ※定休日(年末年始、土日祝)
ブログ:「YOUプログRIN」で検索下さい
メール:rin@n-ikuseien.jp



Café & GALLERY ほっぷ

〈住所〉名張市新田字山出1225-1
〈連絡先〉TEL 0595-66-5513
〈営業時間〉10:00~17:00
※定休日(土・日・祝)



☆Café 輪のブログをご覧ください。

ブログ: